

地域包括ケアに関する取組み

中央区

令和8年3月末現在

○概況

【人口動態、地形、生活環境等の地域特性】 中央区は、福岡における屈指の商業集積地である天神を擁し、数多くの商業施設が立地し、交通の便も良い。中央区の面積は15.39km ² で7区のうち最も狭く、人口は本市7区のうち2番目に少ないが、人口密度は7区の中で最も高くなっている。約9割の住民が集合住宅に居住しており、単身世帯が6割と多い。 【高齢者の状況（高齢化率や介護保険受給者状況）】 高齢化率は低いものの、高齢者人口は年々増加（特に後期高齢者人口が増加）。地域によっては高齢化率が50%に近い校区もあり地域差がある。令和2年国勢調査によると、65歳以上の人がいる世帯では、単身者世帯が43.1%、高齢者夫婦のみの世帯が26.3%であり、高齢者のみの世帯率は市内で1番高い。介護認定状況は、認定者数も年々増加しているが、要介護度は要支援や要介護1の軽度の認定者が約6割と多い。 【社会資源（介護サービス事業所や医療機関、地域コミュニティの状況）】 日々の地域保健福祉活動からは、天神周辺を中心に近隣との関わりを好まず家族とのつながりも弱い独居高齢者が目立つ等、都市部が抱える高齢者支援問題がうかがえる。また、医療機関等は利便性もよく多数存在するが、地域外からの受診も多く地域住民に特化した連携体制はとりにくい。	人口(人)	201,869
	高齢者数(人)	39,442
	高齢化率(%)	19.5%
	小学校区数 (自治協議会数)	12 (14)
	いきいきセンター 圏域数	5

○地域包括ケアに関する現状と課題

住民の転出入が多く、オートロックマンションの居住者も多いため、住民同士や地域とのつながりが希薄になりやすく、安否確認や見守りが困難な場合がある。身寄りやキーパーソン不在の方は、認知機能が低下した際、生活状況が把握しづらく、生活が破綻しても気づかれにくい。早期に相談機関へつながるよう、地域や高齢者と日常的に接する機会の多い事業者などとも連携し、見守りの輪を拡げ、相談機関と連携が取れるような体制づくりが必要。

高齢者が集う場所としてふれあいサロンやカフェ等の場づくりは進んでいるものの、出かけることを好まない方や人との関わりを好まない方への支援について心身の機能低下が問題化する前に働きかけをどうするかが大きな課題である。住民が元気なうちから人生の終い方について自ら考え、認知症や介護の予防・備えに取り組むための啓発が必要である。

中央区は、介護事業所数が少なく、小規模な事業所が多い。そのため、事業所間の横のつながりや地域貢献を目的とした事業所ネットワークの構築を推進しており、令和8年3月末現在で、区内全ての圏域で事業所ネットワークが立ち上がっている。中央区では、専門職間の連携強化と、各団体での次世代の担い手育成を目的とした任意の専門職団体である「中央区医療と介護のまちづくりプロジェクト」が、縦断的に地域ケア会議と関わり、協働してシステムづくりを進めている。また、市民啓発として、専門職が地域に出向いて在宅医療の推進や介護予防等のテーマで出前講座を実施している。

1. 令和8年度取組みの中で、特徴あるもの

取組み内容

○健康づくり・介護予防・認知症予防の啓発と場づくり

(1) 中央区認知症・MCI予防啓発事業

高齢者自身が、元気なうちから、MCI（軽度認知障害）や認知症の予防について理解を深め、セルフケアに取り組むことができるよう、MCIおよび認知症予防に関する講演会を開催し、タブレットを用いた認知機能の簡易検査を実施する。また、オーラルフレイルや運動講座の開催、広報活動による地域住民への啓発を行う。



(2) 高齢男性のためのウェルビーイング事業

高齢男性の孤立化を防ぎ健康づくりを推進するため教室を実施する。内容は、運動（フレイル予防教室よりも運動強度は高め）をメインとし、健康づくりの知識習得、地域貢献や社会参加への興味・関心を高められるように設定する。



(3) 健康パークステーション事業

市民に身近な公園にロコモ予防等につながる健康遊具を設置し、健康づくり・交流の場としての活用を推進している。

1号地：梅光園緑道（笹丘校区）H31.3月完成
2号地：福浜公園（福浜校区）R3.3月完成



(4) 介護予防の拠点づくり

よかトレ実践ステーションの創出、活動支援を行う。高齢者が身近なところで健康づくりができるようよかトレの普及啓発を行う。

○中央区専門職による啓発と地域連携の強化

(1) 「在宅医療と介護の出前講座」

医療と介護のまちづくりプロジェクトメンバーの専門職団体が、在宅医療・介護に関する市民啓発について地域向けの出前講座を実施する。

(2) 医療機関や介護サービス事業所等の地域連携の充実

各圏域や校区等で開催する、医療や介護、ネットワークづくり、高齢者の見守り等に関する講座や会議等へ、地域の医療機関や介護サービス事業所等からも参加や協力をいただき、顔の見える関係や連携体制づくりを進めていく。

2. 令和7年度の取組み状況(R8.3月末時点)

①個別支援における成功事例、課題など(個別支援会議の傾向など)

介護予防型個別支援会議以外の検討事例の約8割に認知症や精神症状がみられ、キーパーソン不在や経済困窮、介護負担、ゴミの問題など様々な課題があった。金銭管理や成年後見制度の利用が必要な方には、社会福祉協議会や弁護士なども含めて支援方針を検討した事例もあった。個別支援会議を通し、支援者同士が情報共有を図り、課題解決に向けた支援方針の検討と役割分担を行い、支援体制の整備を行っている。

個別支援会議開催状況 ・会議回数:71回(うち介護予防型個別支援会議10回)

②住民同士の助け合い・支えあい活動

【認知症になっても安心して暮らせる地域づくり】
「認知症をささえるやさしいまちづくり講座」の中で認知症当事者の声を聴く初めての試みも実施。



【認知症の人へ声掛け訓練】
校区の民生委員児童委員協議会が主催し、事業所ネットワークの協力により、認知症の人への声掛け訓練を実施。



【集合住宅住民に対する見守りの啓発】
福岡市等が主催するマンション管理基礎セミナーの参加者に対して、見守り活動についての啓発チラシを配布。



高齢者地域支援会議
開催状況

・会議開催校区(地区)数:7校区(地区)、延べ回数:11回
・検討内容:高齢者の実態・課題についての意見交換、地域で高齢者を支えるための解決策の検討

③在宅医療・介護連携や多職種連携の推進に向けた取組み

【中央区医療と介護のまちづくりプロジェクト会議】
「中央区医療と介護のまちづくりプロジェクト」は、中央区地域包括ケアシステム構築に関して縦的に関わり、各専門職種団体の情報共有・連携、今後の各種団体での人材育成を目的としている。また、在宅医療・介護に関する市民啓発や介護予防等について地域向けの出前講座も実施している。

〈在宅医療・介護の出前講座〉

開催回数:2回

内容:オーラルフレイル、口腔ケアについての講座を実施。

医療と介護のまちづくりプロジェクト会議 構成団体

医師会・歯科医師会・薬剤師会・理学療法士会・作業療法協会・医療ソーシャルワーカー協会・介護支援専門員連絡協議会・看護協会・訪問看護ステーション会・栄養士会・鍼灸師会



【多職種連携研修会】 全3回

・第1回 講演会(オンライン開催)

「災害に備える～災害後の地域生活、医療介護福祉から見てくる自分たちの地域の課題」82名

・第2回 講演会(オンライン開催)

「在宅のリハビリテーション～訪問で行うリハビリテーションの視点～」38名

・第3回 講演会(会場開催)

「身寄りなし、独居、金銭管理などの問題を抱えた方への支援について」89名

【ケアマネジメントに活かすACP研修会】

区内のケアマネジャーを対象に、ACPの理解促進、訪問看護師との連携強化による在宅におけるACP支援の幅を広げることを目的に研修会を開催。

参加者:区内の居宅介護支援事業所32名、訪問看護ステーション9名

圏域連携会議
開催状況

・会議回数:5回
・内容:高齢者の権利擁護に関する支援や見守り体制、事業所ネットワークの立ち上げに向けた連携について

④区レベルの取組み(特徴ある取組み)

【中央区認知症になっても住みやすいまちづくり事業】

・パンフレット(集合住宅編、金融機関編、小売業編)による広報

・ネットワーク会議:1回

・人生100年時代に備える講座:3回、延283名参加

【健康パークステーション】 梅光園緑道や福浜公園の健康遊具を使って、地域住民への介護予防の啓発。

区地域包括ケア
推進会議開催状況

・区地域包括ケア推進会議(1回)
・専門部会 ①在宅医療・介護部会(1回)
「区の地域包括ケアに関する取組み状況、10年間の各団体の取り組みについて意見交換」
②権利擁護部会(1回) 「区の権利擁護の取組み状況、意見交換」
③生活支援・介護予防部会(1回)
「中央区の認知症になっても住みやすいまちづくり事業の進捗報告、介護予防の取組みや事業所ネットワークについて、10年間の各団体の取り組みについて意見交換」

3. その他、在宅医療・介護連携の推進に関する取組み、事業所ネットワークの活動等

取組	具体的内容
在宅医療に関する市民公開講座	講演会「一人だけど独りじゃない～孤立・孤独について～」92名参加
中央区ケアマネ会	運営委員会で活動について協議しながら、CM向け研修会を年5回実施。
圏域ケアマネ会	圏域ごとに5つのケアマネ会があり、お互いのスキルアップや地域貢献に努めている。
中央区訪問看護ステーション連絡会	ステーション連絡会と連携し、区ケアマネ会と訪問看護ステーション会の顔の見える関係づくりを行った。
事業所ネットワーク活動	活動は、福祉相談会や防災訓練、認知症の人への声掛け訓練など、地域活動への支援を行っているが、立ち上げたばかりのところは、活動内容をこれから検討するところも多い。警固・赤坂校区については、今後、立ち上げ意向について意見交換会を実施予定。
中央区地域密着型サービス事業所の集い	区内の事業所間の連携を促進し、安心して暮らせる地域づくりやサービス提供の質の向上を図る目的で研修会を年2回実施。
弁護士、司法書士、包括職員との勉強会	虐待や処遇困難の事例検討を行い、弁護士や司法書士と意見交換を行った。
消費生活センターと包括職員との意見交換	消費生活センターへの相談事例などをもとに消費者トラブルについて講話があり、意見交換を行った。